

佳作

## じゅんちゃん

群馬県  
藤岡市立美九里東小学校三年

柳原 蓮

じゅんちゃんは、わたしのおばあちゃんです。いつから「じゅんちゃん」とよんでいたのか家ぞくに聞いてもわからなかったけど、小さい時からわたしはじゅんちゃんが大好きでした。

休みの日にはいっしょに庭で草むしりをしたり、わたしと妹をつれてさんぽにいったりしてくれます。

わたしとじゅんちゃんは、旅行が大すきで二人きりでバスにのつてでかける時もあります。動物園に行つていろいろ動物や鳥を見たり、きれいなチューリップ畑を見たりしてとても楽しいです。でも、一番楽しいのは、帰りのバスで二日の楽しかった話を二人でわらいながらする事です。

いつも仕事をしていてつかれているのに、わたしと遊んだり話をしてくれてとてもかんしゃしています。

今までじゅんちゃんに「ありがとう」と言いたいのにはずかしくて言えなかった時がたくさんあります。

それは生まれた時の話や、うん動会でいっしょにおどつてくれた時のたぐさんの「ありがとう」です。

その中で、一番「ありがとう」と言いたいののは、わたしは自転車になかなかのれなくておとうさんにおこられていたことです。ないてしまい、もう自転車なんてのりたくないと思つていたわたしに「じゅんちゃんがおしえてあげるよ」とやさしく言つてくれた時です。

夕方の公園で二人でれんしゅうをしていて、じょうずにのれないわたしに毎日くらくらくなるまでおしえてくれました。やつとのれるようになったわたしが「風になつたみたい」といつて二人で大わらいた時のことがわすれられません。今は自転車が大きくなり休みの日にのるのがとても楽しみです。

わたしがわるいことをしたらおこるけど、いつもやさしくしてくれるじゅんちゃんが大好きです。楽しい時もかなしい時もいっしょにいてくれて「ありがとう」

これからもたぐさん「ありがとう」と言えるように体にきをつけて元気なじゅんちゃんできてほしいです。